

訪問看護ステーションきさらぎ 美魔女通信

2024年10月発行

第5号

編集・花本

10月に入り、やっと秋らしい気候になってきました。涼しくなり疲れ具合が違くと身に染みて感じています。食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、充実した季節を楽しみましょう。

今回はパーキンソン病についてお話ししました。今回はパーキンソン病の利用者さんに対するきさらぎの関りについてお伝えします。

パーキンソン病患者といっても、進行度合いによって関わり方が変わります。

初期



手が震えたり、小刻み歩行だけど
まだまだ自立した生活ができていますよ

- ・健康チェック
- ・不安なこと、困りごとへの相談
- ・きちんと内服ができているか
- ・体を動きやすくするための柔軟体操、筋トレ、歩行練習



中期



なんとか動けているけど、
手伝ってほしいことが増えてきたんよ

- ・健康チェック
- ・家族への支援や介護指導
- ・体の状態に合わせた生活動作の練習や、介助方法の助言
- ・介護ベッド、歩行補助具、車いす、シャワーチェアなど福祉用具の検討



後期



とうとう一人で体を動かすのが
難しくなってきたんよ

- ・健康チェック
- ・食事、嚥下状態の確認
- ・褥瘡ができないように清潔援助、環境調整
- ・介護負担を取り除くための拘縮予防
- ・通所やショートステイが利用できるよう離床練習



パーキンソン病は進行性疾患ですが、適切な治療が行われれば、発症しても長い年数を普通の生活が可能です。

長く付き合う病気だからこそ、早くから看護、リハビリの視点で支援できればと考えます。

空き状況	看護	曜日、時間をご相談ください
	リハビリ	ご希望の時間にお応えします

ご連絡先 訪問看護ステーションきさらぎ (0829) 20-5361